(※この書類は2事業年度分が必要です。必ず事業年度ごとに別紙で作成してください。)

定款附則の「設立当初の事業年 ○○年度 活動予算書

①設立初年度 成立の日から〇〇年〇〇月〇〇日まで(※初年度は、必ず「成立の日から」です。)

②翌年度 ○○年○○月○○日から○○年○○月○○日まで

株 空 北 労 到 汗 動 汁 人 〇 〇 〇 〇

科目は必要に応じて追加、又は不要なものを削除	特定非営利活動法人○○○		
科目	金額 (単位:円)		
 I 経常収益 1.受取会費 董助会員受取会費 2.受取寄附金 変取寄附金 施設等デーム (計) (注) (注)<	*** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** ***		
経常収益計 (A)	××× ×××		
II 経常費用 1.事業費 (1) 人件費 給料手当費 退職和厚生費 人件費計(2) その機費 施設等評価費 施設等評価費 施設等評価費 施設等評価費 施設等評価費 施設等評価費 を会議費 を会議費 を会議費 をの他経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	XXX XXX <td< td=""></td<>		
 旅費交通費 減価償却費 支払利息 その他経費計 管理費計 経常費用計 当期経常増減額 (C) = (A) - (B) Ⅲ 経常外収益 1.固定資産売却益 	*** *** *** *** *** *** ***		
経常外収益計 (D)	×××		

IV 経常外費用 1.過年度損益修正損	×××	
経常外費用計 (E) 当期正味財産増減額	_	× × × × × ×
(F) = (C) + (D) - (E) 設立時(前期繰越)正味財産額 (G) 次期繰越正味財産額 (H) = (F) + (G)		××× ×××

当初年度活動予算書の「次期繰越正味財産額」と次 期事業年度活動予算書の「前期繰越正味財産額」の 金額が一致することを確認する

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等(対象事業等が定められた補助金等を 含む)を受け入れる予定である場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の 部」に区分して表示することが望ましい。

(※この書類は2事業年度分が必要です。必ず事業年度ごとに別紙で作成してください。)

定款附則の「設立当初の事業年度」 と一致させる

○○年度 活動予算書 せる <u>○○年度 活動予算書</u> (※西暦表示も可能です。)

①設立初年度 成立の日から〇〇年〇〇月〇〇日まで(※初年度は、必ず「成立の日から」です。)

科目は必要に応じて追加、又は不要なものを削除

特定非営利活動法人○○○○

科目	金額		(単位:円)
I 経常収益	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
1 授用収益 1 受取会費			
正会員受取会費 施設等評価費用	$\times \times \times$		×××
賛助会員受取会費 も併せて計上	×××	~~~	×××
2.受取寄附金 (計上は法人の	XXX	×××	
受取寄附金 任意)	$\times \times \times$		×××
施設等受入評価益	×××		
3. 受取助成金等	XXX	$\times \times \times$	
受取民間助成金	$\times \times \times$		×××
town a second	×××	$\times \times \times$	
4.事業収益 ○○事業収益	×××		××>
××事業収益	×××	×××	×××
5. その他収益	×××		××:
受取利息 雑収益	$\begin{array}{c} \times \times \times \\ \times \times \times \end{array}$		
*性·4.X (血):	×××	×××	
経常収益計 (A)	×××	XXX	××:
1 47244 中日			
I 経常費用 人件費とその他経費に 1 事業費 スパイナトグ キルの形			
(1) 人件費 おりにより、又出のが に			
柏科于目	×××	/ 审册引而	書の特定非・
法定福利費 、/ 退職給付費用	× × × × × ×	i i	信の付定非 に係る事業
福利厚生費	×××	1	
[/d. # 4]	×××		他の事業の
人件費計 ⁽²⁾ その他経費	XXX		の予算額」
会議費	$\times \times \times$	1	事業費の計
旅費交通費	$\times \times \times$	1	ることを確 -
施設等評価費用 減価償却費	$\begin{array}{c} \times \times \times \\ \times \times \times \end{array}$: 認する	;
支払利息	×××	``	''مر _ا
	$\times \times \times$		
その他経費計 事業費計 マープ・ハーボンス のり はましょ	××× ×××	XXX	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
9 英田典 · 人件官とその他経官に!!	^ ^ ^	^ ^ ^	^_
(1) 人件費 分けた上で、支出の形 -			
役員報酬 :態別に内訳を記載 給料手当	×××		XX
おかけます。	× × × × × ×		×× ××
退職給付費用	×××		
福利厚生費	×××		
人件費計	××× ×××		××
(2) その他経費	XXX		
会議費	×××		××
旅費交通費 減価償却費	× × × × × ×		×× ××
支払利息	XXX		^^
	$\times \times \times$		
その他経費計 管理費計	××× ×××		× ×
官理實計 経常費用計 (B)	XXX	×××	×× ××
当期経常増減額 (C) = (A) - (B)	XXX	×××	××
1 公学的中头			
I 経常外収益 1.固定資産売却益	×××		××
□ 1 pag / こ 3ペ / エクロデザ IIII.	×××		××
経常外収益計 (D)	XXX		XX
7 奴党从弗田 (タッパッナル・)			
7 経常外費用 その他の事業で 1.過年度損益修正損 得た利益の振替	×××		
1 週午及頃亜ドエ頃 特に利益の旅音 額	×××		××
経常外費用計 (E)	×××		XX
経理区分振替額 ************************************	XXX	$\triangle \times \times \times$	~~
当期正味財産増減額 (F) = (C) + (D) - (E)	×××	×××	××
設立時(前期繰越)正味財産額 (G) _	×××	$\times \times \times$	××
次期繰越正味財産額 (H) = (F) + (G)	×××	XXX	XX

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等(対象事業等が定められた補助金等を含む)を受け入れる 予定である場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分して表示することが望ましい。